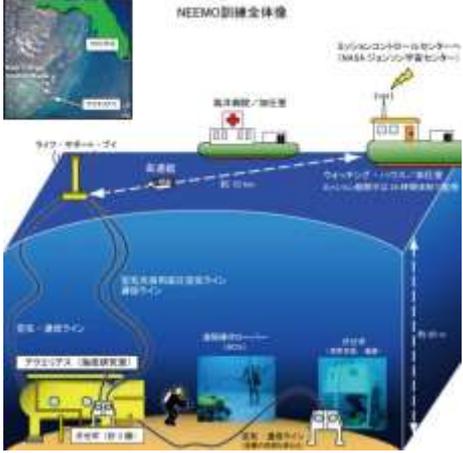


名称	Aquarius Reef Base
国籍及び場所	キーラーゴ, フロリダ, 米国
開発機関	NOAA
運用機関	Florida International University
施設カテゴリー	<input checked="" type="checkbox"/> ヒューマンファクター・ <input type="checkbox"/> ハードウェアシミュレーション
体験可能な危険状態	<input type="checkbox"/> 船外活動・ <input checked="" type="checkbox"/> 隔離・ <input checked="" type="checkbox"/> 通信遅延・ <input checked="" type="checkbox"/> 明暗周期・ <input type="checkbox"/> 地球からの距離・ <input checked="" type="checkbox"/> 精神的ストレス・ <input type="checkbox"/> 重力 <input type="checkbox"/> 月・火星類似地形
施設概要 (開発年、規模、特徴等)	将来の宇宙探査のため、宇宙飛行士や技術者、科学者が最大3週間過ごす、アメリカ航空宇宙局(NASA)の訓練を行うための海中居住施設アクエリアス。フロリダ州キー・ラーゴから5.6km沖合のナショナルキーズ国立海洋保護区にある。サンゴ礁に隣接し、水面下19mの海底に設置されている。2001年から運用開始。幅3m×長さ約15m。
施設関連画像	   
実施されたプログラム/ミッション	<p>海底に設置されている研究室にて心理的にISSや将来の有人探査と類似した閉鎖環境を実現し、リーダーシップ、フォロワーシップ、チームワーク、自己管理、異文化理解などのISS長期滞在に必要なチーム行動能力を向上させることが目的。また、急には脱出できないISSと類似した閉鎖環境での地上との通信や宇宙ミッションを想定した活動など、ISSや将来の有人探査における長期滞在により近い環境で訓練を行えることが特徴。</p> <p>船外活動では、サンプルを採取するツールの作業性や、小惑星・火星などの異なる地表・重力レベルでの作業手法を検証し、またウェアラブル端末に作業手順を表示してクルーが実際に作業を行えるかどうかを検証したり、通信の遅れを模擬。</p>
参照資料	<p>https://ja.wikipedia.org/wiki/NASA%E6%A5%B5%E9%99%90%E7%92%B0%E5%A2%83%E3%83%9F%E3%83%83%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3%E9%81%8B%E7%94%A8</p> <p>https://iss.jaxa.jp/astro/yui/nasaneemo16.html</p> <p>https://www.zaikei.co.jp/article/20150709/258325.html</p>